

地方独立行政法人山口県立病院機構評価委員会（第8回）の概要

1 開催日時

平成25年7月18日（木）10:00から11:30まで

2 開催場所

山口県庁本館棟4階 共用第2会議室

3 出席者

評価委員会委員：5名

事務局：7名

法人：11名

4 内容

(1) 県健康福祉部長挨拶

(2) 議事

① 平成24年度における法人の業務の実績に関する評価について

② 平成24年度における法人の財務諸表について

- ・ 事務局から資料1～資料3について、法人から資料4～資料6について説明。

主な質疑応答・意見 委員 法人

- このたびの評価で5点となっている項目は、脳卒中等の項目と、専門外来等の項目であるが、その数値目標は、すでに23年度実績で中期計画最終の目標数値を達成している。

平成24年度の実績値は、平成23年度の実績値とほとんど変わらない状況であるが、平成24年度の年度計画の数値と比べると確かによい数値となっている。

評価の問題、自己評価のスタンスの問題であるが、これをどう考えるのか。

また、専門外来の初診時外来診療件数が増加傾向にあるということについて、どのように考えるのか。

- 脳血管内手術については、一般的に開頭術というものが行われてきたが、患者さんの侵襲度がより少ないものとなるよう、平成24年度については、ペナンプラという新しい治療器具を導入した。

平成23年度の手術件数は、まだそれが導入されていない状況での手術件数

であるが、こういった新しい器具の導入で、平成24年度は、より安全で質の高い手術を行うなど、内容が非常によくなっていると考えている。

専門外来診療についても、平成26年度の数値目標である専門外来診療延べ患者数（初診）230人を平成23年度実績で超えているが、現状で医師のキャパシティを超えており、手一杯の状況である。

単に患者数を増やすのが目標ではなく、本当の目標としては、県内の医療連携をいかに充実させるかということであるため、思春期外来に関しては、児童相談所等へのスーパーバイズということで、児童相談所がそれぞれの圏域の中で、医療資源を発掘しながら、相談員がより入り口のところで、予防的な対応も含めて対応できる力量を高めていく、そのような試みを進めている。

認知症については、さらにそういう面が強く、市町を中心とした地域の医療福祉ネットワークの構築を注視しており、県医師会とも協力しながら、また、こころの医療センターでは、宇部市・山口市の地域包括支援センターと定例的な事例検討会等を開きながら連携を深めている。

今後も、専門外来の患者数というよりも、そこで行われる医療の質の向上をより求めていきたい。

- 未収金の回収について、3月からコンビニ収納サービスを開始したということであるが、その状況を伺いたい。

また、こころの医療センターの未収金管理システムとはどのようなものか伺いたい。

- コンビニ収納については、総合医療センターの未収金は山口銀行を窓口としているが、なかなか払いに行けないという方もおられるため、山口銀行と契約してコンビニで支払えるサービスを開始したものである。

こころの医療センターの未収金管理システムは、当院の医事管理システムの中に組み込んでいるもので、収納状況等の表示や督促状の発行が可能であり、それによりしっかりした管理ができるというものである。

- 総合医療センターでは、病児と病後児の院内保育を行っているのか。
- 病後児保育を行っており、病児保育については、対応したいが、現状では設備的に用意ができていない。

- 病後児保育は院内職員だけが対象か。

たとえば、違う病院の方も共有できるようなものか。

- 対象は、今のところ院内職員だけである。

やはり働きやすい病院ということで、女医もどんどん増えていく時代になっているため、保育の分野はこれ以外にも力を入れていきたい。

● 全国の情報として、地域で公私の病院を問わず子供を預かるような工夫をしているところがあったが、そのあたりはどうか。

□ まだ、そこまでは力が及ばない。

こころの医療センターでは、逆に近くの民間病院を使わせてもらっている状況である。

● 働く男女のことを考えると、病児保育も必要かなと思っている。

そういう環境がしっかりしてくると、人が集まってくる職場にもなると思う。是非その当たりの対応をしていただきたいと思う。

また、育児短時間勤務制度の試行を実施したということであるが、その効果を教えて欲しい。

□ 子育て中の女医の話では、評判はよい。

● 医者については、週1回という働き方もあるのか。

□ ある。

女医の場合、夫の勤務の都合もあるので、できるだけ都合をつけるようにしており、また、当直についても、かなり配慮している。

● 統計上、第1子を生んでやめる方がいろいろな職場で多くなっている。

女子大生も専業主婦希望の傾向が高いと聞く。

男性も女性も働きやすい職場環境にしていきたいと思う。

□ 理想を言えば24時間保育ということになるのだろうが、時間的な対応も検討している。

- ・ 今回の審議事項2件については継続審議とし、評価委員会の評価結果（案）及び財務諸表承認に当たっての意見（案）については、次回委員会において決定することとなった。

② その他

次回の評価委員会は、8月8日（木）の午前10時から開催する。